



# 上末っ子

平成31年4月5日

4月号

支え合い 一人ひとりが輝く上末っ子 【学び合い】【共生】【自立】 横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い 支え合い 一人ひとりが輝く上末っ子 【学び合い】【共生】【自立】 ～

## 新たなスタート 輝く学校

校長 矢島 孝幸

学校の桜は満開を迎え、職員玄関前には、色鮮やかな花が新年度を祝ってくれているようです。まさに希望と期待を感じる新しい時代へ最高のスタートを切ることができました。

新しい時代の幕開けとなる新元号「令和」は、典拠となった万葉集の一節で、大伴旅人が友人を招いた「梅花の宴」で梅に関する和歌32首が詠まれ、その際の序文として寄せた歌を基に考案されたようです。本校のシンボルであり、校章のデザインとなっている「梅」と関連があること、まさに本校の輝かしい未来を予感します。新しい時代を象徴する学校となるよう、教職員一同全力で学校づくりに取り組んでまいります。



新しい仲間との出会い、新しい先生との出会い、子どもたちは様々な希望とやる気をもって新年度を迎えたことでしょう。子どもたちが抱いている希望や期待が実現するよう、また、自分の思いが膨らみ実現するよう、今年度も努力していきます。

昨日、6年生が入学式の準備・新年度の準備に向けて一生懸命に仕事をしてくれました。6年生の姿…「立派」の一言です。新年度最初の出会いで期待を大きく上回る姿を見せてくれた6年生。新しい時代を切り拓き、素晴らしい学校、笑顔が溢れる学校をリードしてくれることでしょう。新年度スタートで大きな期待を抱かせてくれた6年生に感謝の気持ちでいっぱいです。「一人ひとりが輝く上末っ子」を実現する学校に向け、身が引き締まります。

始業式では、約2週間ぶりに2年生～6年生の子どもたちと顔を合わせました。一人一人の子どもの目は輝きに満ちています。進級したことによる気持ちの高揚と1年間の期待が、輝きに満ちた子どもたちの表情に表れたのでしよう。

入学式では104名の新1年生が新しい門出に喜びを感じ、上末吉小学校の門をくぐります。小さな背中に大きなランドセル…ランドセルの中には入りきれないほどの希望と楽しみが詰まっていることでしょう。入学した全員が「上末吉小学校が好き。」と感じられる学校となるよう精一杯頑張ります。笑顔が輝く子どもの姿、生き生きと活動している子どもの姿が満ちている学校にしていきます。そして、子どもの素敵な姿を地域・保護者の皆様に伝えられるようにしていきます。

保護者、後援会、地域の皆様、1年間ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。